



## 誰もが安心できる学校であるために ～ 前期人権学習月間 ～

## 人権学習月間に寄せて

## 校長講話より

ある小学校でのできごとについて、その校長先生が全校朝会でお話したことです。読ませてまいります。

それは、二年生の算数の授業でのことでした。

担任の先生は、B君の落ち着かない様子が気になっていました。よく見ると、B君は、自分の足の先でぞうきんを扱い、何か床を拭いているようです。

実は、B君の隣のAさんが、体調が悪いのかお漏らしをしてしまったのでした。ほんの少しだけ床がぬれてしまったのを、B君は、他の人に気づかれないように、上半身を止めて、目は算数の本からそらさず、足先だけを動かしてそっと拭いていたのです。

しばらくしてB君は、あたかも算数の問題を解き終えて、先生に見せに行くようなふりをして先生に報告しました。「先生、Aさんを保健室に連れて行っていい？」 B君はAさんを伴って保健室に行き、その間に先生は学級の子たちにさりげなく事情を説明しました。

やがてAさんたちが戻ってきました。そのクラスでは、算数の授業も、その後の生活も、何事もなかったかのように進んでいったのでした。

さて、このお話でのB君についてです。誰かに教わってとった行動なのでしょうか。

小学校2年生です。Aさんの体の状況も詳しくはわかっていなかったでしょう。こんなときはこうしましょう、などと教えられ、その言いつけを守ったということではありませんね。

一回みなさん立ってくれますか。先生がやるように一緒にやってみてください。片足をあげます。できる人は、2～3秒、目をつぶってみましょう。はい、足をおろして。座りましょう。

多くの人が倒れないようにバランスをとっていましたね。どうですか、「どうすれば倒れない」ということを考えていたわけではないですよね。たぶん、足の裏が微妙にあちこちに力を入れて、自然に調整をしていたと思うのです。これが平衡感覚とかバランス感覚というのですが、話を元に戻すと、このBさんも、理屈ではなく「このままではAさんがたいへんだ」という感覚をもっていたからできたのです。私は、このように、目の前の人が苦しむことを止めようとする感覚を、人権感覚というのではないかと、思っています。

皆さんのもっている「目の前の人が苦しむことを止めようとする感覚」は、しっかりと磨かれていますか。このお話にあたり、昨年の記録を少し見せてもらいました。2学期のアンケートでは、約4分の1の生徒の皆さんが、なまはまにしたり、無視したり、陰口をいうことをした、と答えています。まず、しっかり振り返ってくれているのに感心しました。頭ではわかっているのです。スポーツだって音楽だって、頭でわかってから練習しないとすらすらと感覚でできないものです。この機会に磨いてほしいと思うのです。

そのためにももうひとつたとえ話をさせてください。

ここに風船があります。風船はたとえて言うとひとの気持ち、心です。よく「心が張り裂けてしまう」といいますが、つらいこと、心配がたくさんあって、心の風船がぼんぼんにふくらんで破裂してしまう様子です。この心の風船は、まだ破裂していません。ここに針があります。針はひとの発する言葉や態度です。あまり例を出すのもいやなのですが「消える」だとか「バカ」などと言い、相手を痛めつける、相手をちくちく刺す言葉をつい言うてしまうことってあるかもしれません。また、無視をしたり、陰口を言うような態度をとったりすることも針のようなものです。

心にちくちくする態度や言葉が刺さるとどうなるか。

心は普通にしていればこわれることはありません。でも、この針、つまり、言葉や態度で心はこわれてしまうものなのです。もう一回やってみます。今度はこわれません。なぜ破裂しなかったのか。風船には破裂しないポイントがあり、たまたま、そこに針がささったからです。これは、傷つける態度や言葉があったが、たまたま相手を決定的に傷つけずに済んだということです。しかし言葉や態度の針は心を壊してしまうのが当たり前です。今まで、針のような言葉を言っていて、なんとなく許され、友達の心が決定的にこわれなかったのは、たまたまであっただけだ…ということを実感しなければなりません。

今月は人間の心について学ぶ、人としてどうあるかを問い、考え、実践する力をつける、月間です。

それぞれの学年の学習で、もの、こと、人に出会った皆さんは、そのとき何を感じ、なにをしていくのでしょうか。しっかり学び、行動し、人権感覚も磨いてくれることを期待してお話を終わりにします。



### 生徒会活動 ～生活向上週間・清掃向上週間～

5月8日(月)～12日(金)は生活向上週間、15日(月)～19日(金)は生活向上週間を生徒会活動で行いました。生活向上週間では、服装、時間を守ると共に、今年度重点である挨拶への取組を更に高めていこうと生活委員が中心となって毎日呼びかけたり帰りの会で振り返りを行ったりしました。また、清掃向上週間では、全校で清掃前に毎日行う「黙想」の意義を改めて考え、清掃場所へ無言で移動し気づき清掃を行うことを重点に活動しました。どちらの活動も3年生が中心となって、日頃の反省からよりよい学校生活を目指すことができました。



～ 黙想中の生徒 ～  
休み時間から気持ちを切り替え、「心を磨く清掃」に取り組みます。

### 前期読書旬間

スローガン「読書の冒険に出かけよう！ グランブックファンタジー」

5月22日(月)より前期読書旬間が始まりました。

旬間中は、校長講話や先生たちのブックトーク、図書委員による朗読の放送など様々な企画が行われます。そして、最も大事にしている活動が朝読書です。一日のスタートは朝読書から。生徒も教師も一緒になって10分間の読書を楽しみます。BGMは野鳥の歌声。心落ち着く時間を過ごしなが、毎日の学校生活がスタートしています。



### アイリスセミナー講師紹介式

アイリスセミナーが6月より始まります。開講に先だち26日(金)に講師の皆様を紹介式を行いました。皆様より自己紹介と共に、講座の内容をお知らせいただきました。講師の皆様のお人柄が伝わり、開講が更に楽しみになりました。

講師の皆様にはご多用の中、ご来校いただきありがとうございました。



### 職場見学

2年生職場体験学習の事前学習として24日(水)に村内の職場(青木村保育園様、村役場様、キャステク様、レポートあおき様、本校給食室)を見学させていただきました。直接、働く姿を拝見し仕事への思いや、やりがいをお伝えいただきました。各職場の皆様には、お仕事中大変お世話になりました。ありがとうございました。



### スクールカウンセラーの紹介

村のスクールカウンセラー 植田 瑞穂 先生(週に1回(水曜日)来校されます。)

県のスクールカウンセラー 油井理恵子先生 (7/13(木)・9/14(木)・10/12(木)・11/9(木)・12/14(木)・1/11(木)・2/8(木)・3/8(木)来校予定)

\* 面談の希望がありましたら、学級担任または教頭へ1週間ぐらい前までにご連絡ください。子どもさんや学校の心配事など、お気軽にご相談ください。



2(金)・16(金)アイリスセミナー①② 9(金)・10(土)上小大会  
12(月)振替休日 14(水)内科検診 15(木)耳鼻科検診  
19(月)集金日・地域参観日 24(土)・25(日)東信大会  
26(月)計画休業 29(木)漢字道場



【放射性物質検査結果について】5月の学校給食用食材の「長野県産 アスパラガス」「茨城県産 長ネギ」から、放射性物質が検出されなかったことをお知らせします。